

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社  
 コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 溝口 康博  
 (氏名) 山本 信明

TEL 054-354-5000

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第1四半期	20,992	—	248	—	628	—	386	—
20年3月期第1四半期	21,145	△1.7	△203	—	126	△81.3	51	△86.0

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	18.84	—
20年3月期第1四半期	2.53	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第1四半期	47,301	21,407	45.3	1,042.86
20年3月期	46,193	21,131	45.7	1,029.36

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 21,407百万円 20年3月期 21,131百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期連結累計期間	41,800	100	600	300	14.61
通期	80,800	100	1,000	600	29.23

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	20,650,731株	20年3月期	20,650,731株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	122,914株	20年3月期	121,739株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	20,528,574株	20年3月期第1四半期	20,530,543株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2.業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、原材料価格の上昇が続くなか、前期に実施した価格改定による新価格での販売定着を引き続き進めるとともに、「キッチン！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を実施して需要の喚起に努めました。

価格改定により、販売価格は上昇しましたが、販売数量の減少を補えず、売上高は 209 億 92 百万円（前年同期比 0.7%減）となりました。販売費などの諸費用の節減もあり営業利益は 2 億 48 百万円（前年同期は 2 億 3 百万円）となりました。(株)マルアイ他の株式を取得したことにもなう負ののれん償却額 1 億 25 百万円を営業外収益に計上し、経常利益は 6 億 28 百万円（前年同期は 1 億 26 百万円） 四半期純利益は 3 億 86 百万円（前年同期は 51 百万円）となりました。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		期別		前第 1 四半期		当第 1 四半期		増減	
				金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ		9,208,017	43.5	9,310,058	44.3	102,040	1.1
		デザート		1,574,797	7.4	1,273,760	6.1	301,037	19.1
		パスタ&ソース		1,651,298	7.8	2,112,268	10.1	460,970	27.9
		総菜		1,863,633	8.8	1,619,977	7.7	243,656	13.1
		花かつお・海苔・ふりかけ類		1,575,013	7.5	1,744,224	8.3	169,210	10.7
		ギフトセット・その他食品		1,272,742	6.0	1,205,921	5.7	66,821	5.3
		計		17,145,503	81.0	17,266,209	82.3	120,706	0.7
	業務用食品			2,899,189	13.7	2,847,687	13.6	51,501	1.8
	ペットフード・バイオ他			666,964	3.2	655,850	3.1	11,113	1.7
	計			20,711,657	97.9	20,769,748	98.9	58,091	0.3
その他	不動産賃貸他			434,105	2.1	222,365	1.1	211,740	48.8
合計				21,145,762	100.0	20,992,113	100.0	153,649	0.7

「ツナ」では、昨年 10 月の価格改定により、きはだ鮪製品の販売は減少しましたが、新製品の「シーチキンPLUS」シリーズが好調に推移したため、当製品群の売上高は前年同期比 1.1%増加しました。「デザート」では、輸入フルーツが低調な販売となり、当製品群の売上高は前年同期比 19.1%減少しました。「パスタ&ソース」では、パスタの価格改定効果に加え、メニュー提案活動の積極的な展開により、当製品群の売上高は前年同期比 27.9%増加しました。「総菜」では、「シャキッとコーン」などの販売が低調で当製品群の売上高は前年同期比 13.1%減少しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパック、味付のりを中心に販売促進機会の増加等により、当製品群の売上高は前年同期比 10.7%増加しました。「ギフトセット・その他食品」では、総じて加工食品ギフトの需要が低迷したこともありギフトセットの販売が振るわず、当製品群の売上高は前年同期比 5.3%減少しました。「業務用食品」では、主力のツナ、スイートコーンなどの原材料価格の上昇が影響し、当製品群の売上高は前年同期比 1.8%減少しました。「ペットフード・バイオ他」では、ペットフードは国産製品の販売が好調に推移しましたが、バイオでは原料入荷量の減少が販売量の減少につながり、当製品群の売上高は前年同期比 1.7%減少しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より11億8百万円増加して、473億1百万円となりました。これは、主に売掛債権が15億30百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より8億32百万円増加して、258億93百万円となりました。これは、主に短期借入金が10億円減少したものの、買掛債務が17億5百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より2億75百万円増加して、214億7百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億32百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.7%から45.3%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、当初の予想を上回りました。第2四半期業績予想、通期業績予想は、原材料・資材価格のさらなる高騰により製品コストの一段の上昇が予想され、販売環境も不透明感を増していることから、当初予想から変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （簡便な会計処理）

##### 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

##### 販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

### （四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

棚卸資産の評価基準および評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として月次総平均法による低価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことにともない、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。

これにより営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ10,744千円減少しています。

5. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,499,933	1,547,162
受取手形及び売掛金	15,347,313	13,816,662
商品	61,311	75,977
製品	5,313,526	5,744,361
半製品	388,795	383,469
原材料	3,617,779	3,342,458
仕掛品	215,558	193,098
その他	1,996,496	1,971,096
貸倒引当金	22,657	18,697
流動資産合計	28,418,058	27,055,589
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,946,334	4,946,334
その他(純額)	5,752,200	5,910,107
有形固定資産合計	10,698,535	10,856,442
無形固定資産	347,343	354,961
投資その他の資産		
投資有価証券	7,470,230	7,553,506
その他	384,221	397,754
貸倒引当金	17,150	25,150
投資その他の資産合計	7,837,301	7,926,110
固定資産合計	18,883,180	19,137,513
資産合計	47,301,238	46,193,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,545,863	13,840,160
短期借入金	1,081,660	2,081,660
未払金	2,437,816	3,498,989
未払法人税等	217,056	143,408
売上割戻引当金	163,580	53,724
販売促進引当金	1,165,180	67,327
賞与引当金	485,312	397,384
その他の引当金	-	37,500
その他	621,012	590,473
流動負債合計	21,717,483	20,710,627
固定負債		
長期借入金	727,510	768,340
引当金	832,936	825,436
負ののれん	881,332	1,007,236
その他	1,734,297	1,749,781
固定負債合計	4,176,075	4,350,794
負債合計	25,893,559	25,061,422

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,549	942,549
利益剰余金	16,643,986	16,411,221
自己株式	121,771	120,716
株主資本合計	18,906,433	18,674,723
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,851,656	2,867,694
繰延ヘッジ損益	20,787	89,264
為替換算調整勘定	371,198	321,472
評価・換算差額等合計	2,501,245	2,456,956
純資産合計	21,407,679	21,131,680
負債純資産合計	47,301,238	46,193,103

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位：千円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
売上高	20,992,113
売上原価	14,466,469
売上総利益	6,525,643
販売費及び一般管理費	6,277,204
営業利益	248,438
営業外収益	
受取利息	275
受取配当金	80,840
負ののれん償却額	125,904
受取手数料	105,837
その他	112,228
営業外収益合計	425,087
営業外費用	
支払利息	7,874
持分法による投資損失	12,854
その他	24,380
営業外費用合計	45,109
経常利益	628,416
特別利益	
貸倒引当金戻入額	57
特別利益合計	57
特別損失	
固定資産除却損	36,816
特別損失合計	36,816
税金等調整前四半期純利益	591,657
法人税等	204,925
四半期純利益	386,732

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 【参考】

## 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
売上高	21,145,762
売上原価	14,717,330
売上総利益	6,428,431
販売費及び一般管理費	6,631,951
営業損失	203,520
営業外収益	361,989
営業外費用	31,862
経常利益	126,606
特別利益	11,646
特別損失	5,512
税金等調整前四半期純利益	132,739
法人税等	80,773
四半期純利益	51,966